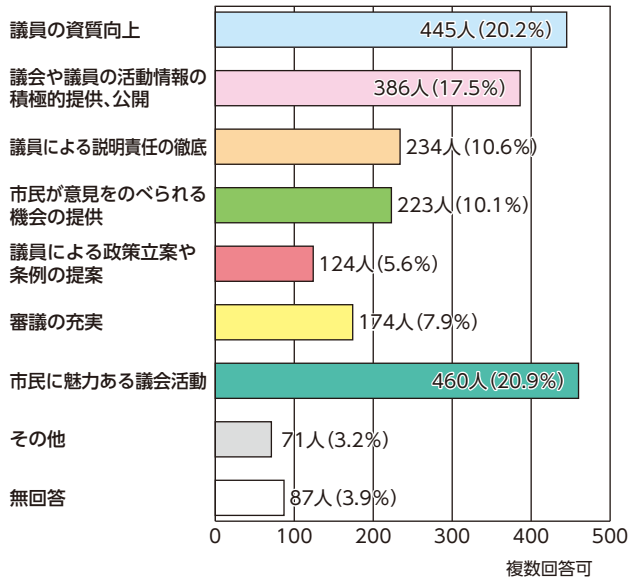


報酬が月額30万円であることについてどう感じますか。

- ・適当である 34%
- ・多い 23%
- ・少ない 5%
- ・わからない 35%
- ・無回答 9%

特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。



議員として働いてみたいと思いますか。

- ・ぜひやってみみたい 1%
- ・条件を整えればやってみみたい 8%
- ・全く思わない 81%
- ・無回答 9%

### 調査結果の検証

#### 【課題】

- ・若者や女性議員を増やす仕組みづくり。
- ・定数、報酬ともに「わからない」との回答が3割強。
- ・議員になるリスクと魅力、両方の情報の提供不足。
- ・報酬の金額（月額30万円／人）。
- ・政務活動費の金額（年間10万円／人）。

#### 【解決策】

- ・報酬が十分であればやってみたい人がいることから、報酬の増額検討。
- ・年齢による段階的報酬の取り入れや子育て手当等の検討。
- ・政務活動費増額へ向けてその必要性を調査し、適当な金額の算出。
- ・議会モニター制度を導入し、興味や活動への理解を深め、議員のなり手を確保する。

#### 【まとめ】

前回のアンケートの検証結果を受けて様々な試みを行った成果として、今回のアンケートでは、「全般的によく知っている」「少し知っている」の数字がそれぞれ改善しました。しかし、「知らない」「わからない」が依然として多い点は継続した課題となります。

「チーム議会」として、市民、事務局、議会が総戦力で議会運営を進めていく必要があ

り、次のことに力を入れて行きます。

- 議会基本条例で規定された『ありがたい議会』に近づくため、「議会改革サイクル」「政策サイクル」を整える。
- 市民にとって「魅力ある議会とは何か」について再認識し、なりたい議会の目標を定め、議会改革を推進する。
- 各年齢層へ伝わる情報発信方法の再検討。
- 予算審議、監視機能を強化するための議員間協議の充実。
- より市民が参加しやすい議会環境を整える。

市議会に対するアンケート結果は、菊川市ホームページの市議会のページ、きくがわ文庫、小笠原書館、各地区センターでも閲覧できます。詳細につきましては、そちらをご覧ください。

市民の皆様、アンケート調査へのご協力ありがとうございました。

#### …傍聴手続きが簡素化されました…

2月定例会から傍聴規則が改正され、傍聴者の住所・氏名等の記入が不要になりました。お子様を連れての傍聴も可能となりました。また、ICT機器の持ち込みも可能となりましたが、傍聴席での通話や音、フラッシュ等を発することはご遠慮ください。

多くの方のご来場をお待ちしております。

問に対する回答の構成比は、回答数を100.0%として算出し、小数点以下第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。